

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、新規の検査拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- [45130] EML4-ALKキメラmRNA遺伝子解析

### 受託開始日

- 平成24年3月5日(月)

# EML4-ALKキメラmRNA遺伝子解析

近年、上皮成長因子受容体（EGFR）のチロシンキナーゼを標的とした非小細胞肺癌の分子標的薬が注目されています。特にEGFRチロシンキナーゼの部位に遺伝子変異を有する場合、8割を超える患者で治療効果が得られるとされ、逆に遺伝子変異が存在しない場合、治療効果がほとんど得られないと報告されています。

EML4-ALKキメラ遺伝子は、2番染色体短腕上のEML4遺伝子とALK遺伝子が逆位で再結合したキメラ遺伝子で、受容体型チロシンキナーゼであるALK蛋白が恒常的に活性化することで癌化に関与すると考えられています。日本人の非小細胞性肺癌患者の約4%にこのキメラ遺伝子が認められます。このキメラ遺伝子を有する非小細胞性肺癌患者に対しては、国内未承認薬ではありますが、未分化リンパ腫キナーゼ阻害薬が有効であるという論文が報告され、注目を集めています。

EGFR遺伝子変異とEML4-ALKキメラ遺伝子は排他的な関係にあるとされており、EGFR遺伝子変異陰性患者群の一部にEML4-ALKキメラ遺伝子を有する患者が認められます。EML4-ALKキメラ遺伝子の解析は、近い将来、EGFR遺伝子変異陰性患者に対する治療法を検討するための有力な情報をもたらす可能性があると考えられます。

## 検査要項

項目コード	45130
検査項目名	EML4-ALKキメラmRNA遺伝子解析
検体料/保存方法	組織 50mg(4mm角)/冷蔵*
検査方法	RT-PCR法
基準値	検出せず
所要日数	5～11日
検査実施料	未収載
定価	35,000円

\*新鮮組織を4mm角程度に無菌的に細切し、RNA安定化剤入り専用容器（容器番号43番）に移し冷蔵保管して下さい。

## 参考文献

Soda M, et. al., Nature, 448, 561-6, 2007.  
Kwak EL, et. al., N Engl J Med, 363, 1693-703, 2010.